

秋吉台

— 美祢市自然保護協会だより —

2011年11月1日号
(第2号)

発行：美祢市自然保護協会
美祢市秋吉台管理事務所内
TEL:0837-62-0640

秋吉台憲章

- 秋吉台の自然を学び、親しみ、豊かな恵みに感謝しよう。
- 秋吉台の自然を大切に守り、豊かな文化を育もう。
- 秋吉台の自然を正しく利用し、人との共生をはかろう。
- 秋吉台の自然を守るために、一人ひとりが積極的に行動しよう。
- 秋吉台の自然、景観、歴史・文化を後世に末永く継承しよう。



秋吉台の山焼き考

「秋吉台の山焼きは、650年もの昔からの伝統が今も受け継がれています」と、広報みね(2011.2.15号)に記載されていた。この記事少し変だなと思い、秋吉台紹介のパンフレット類を調べたところ、同じような記述が見受けられた。

史実としては、納得しがたい記述であり、650年を証明する文献は、今のところ見当たらないが…しかし、秋吉台の山焼きは、かなり古くから始められていたものと推測される。山焼きの習俗は、「万葉集」巻第14東歌の「おもしろき野をばな焼きそ古草に新草まじり生ひば生ふるがに」と、歌われているように、古代から全国各地で行われていたようだ。

毎年春先に山野に火を入れる山焼きは、枯れ木、枯れ草を焼くことで、野山の力を蘇えらせ、よい草を育てるための知恵であり、焼畑農耕にはぜひ必要なものであった。

毛利藩が編纂した「風土注進案」によると、「草刈場之義は遠村よりも入来り、諸村入相の刈場に候事」とあるように、入会権を持つ台麓周辺の農家の人たちが、秋吉台の草刈りをしていたことが伺える。当然、山焼きも行われていたと考えられる。

ところで明治以降、台上の造林が進むにつれ、類焼を防ぐため大正中期頃、秋吉村は、共和、別府、大田、赤郷の関係町村に採草地の共同火入れを提案している。しかし、実現には至らず今日のような組織形態、すなわち、地域住民が共同して山焼きをするようになったのは、今から86年前、大正14年の春から実施されるようになった。このことについては、秋芳町地方文化研究会第4号に報告されている。(前田享一さんの秋吉台の山焼きについての論文)

秋吉台は、自然のままに放置しておくとも照葉樹林に移行してしまうが、山焼きで草原と固有の植物景観が維持されていると言える。(会長 河本芳久)

ジオパークをめざして

3億年の歴史を秘めた秋吉台、秋芳洞は、国から特別天然記念物の指定を受け、広く国の内外から観光客が訪れています。私たちは、このことを美祢市民としてとても誇りに思っています。

ところで、最近「ジオパーク」という言葉を、新聞・テレビ等で耳にします。美祢市でも「美祢市ジオパーク推進協議会」が立ち上げられ、五年後の世界ジオパーク認定を目指しています。

そこで、私たち美祢市民として、少し勉強しておく必要があるのではないのでしょうか。



自然保護協会では、7月7日(水)、秋吉公民館において、定期総会を開催しました。

総会の後、山口大学大学院 永尾隆志教授の記念講演が催されました。演題は、「ジオパークの魅力」というテーマでした。

以下講演の要旨をご紹介します。皆さんと一緒に、ジオパークについて考えてみたいと思います。

ジオパーク(Geopark)とは、ジオ(地球)に関わる様々な自然遺産、例えば、地層、岩石、地形、火山、断層などを含む自然豊かな公園です。

では、世界遺産とは、どう違うのでしょうか。ジオパークは、自然遺産を保護しつつ、それを教育や科学の普及などに活用します。

保護と活用の両方を重視する点が、主に保護を目的とする世界遺産と異なる点です。

秋吉台・秋芳洞を訪れる人々は、何を求めてやって来るのでしょうか。

秋吉台・秋芳洞は、他のどことも違った成り立ちがあります。それは、地球の歴史を物語る重要な証拠が隠れています。

こんな素晴らしい地域に住んでいる私たちは、大地の遺産を保護するとともに、その価値を伝える責務があるのではないのでしょうか。

(理事 金石弘士)

—平成 23 年度（前期）活動紹介—

花火大会後の秋吉台清掃

今年も夏の夜空に彩りを添える花火大会が、7月30日に開催され、約6万2千人（市総合観光部発表）の人々でにぎわった。

翌日朝、7時から約2時間、台上展望台付近を中心に、ごみ拾いを行った。

自然保護協会の清掃活動は、平成6年から年2回実施している。今年は、シルバー人材センター・協会会員併せて約80人の参加者があった。

観光客のみなさんに、ごみのない美しい秋吉台のすばらしさを満喫してもらいたい。



平成 23 年度 自然保護啓発作品入賞者

習字の部

審査員 為近智子・藏本隆博

金賞

嘉万小1年 寺田心菜 美
大嶺小3年 植田 愛
大嶺小5年 池上 華
別府小6年 福田 歩未
美東中3年 堀 和華

銀賞

秋吉小2年 石田 心海
嘉万小4年 上本 日菜
大嶺小5年 松井 舞
嘉万小6年 井内田実夕
大嶺小6年 木原 朱理
美東中3年 高見 優佑

銅賞

秋吉小2年 酒井 実菜
重安小2年 利重 綾香
秋吉小3年 戎 虎太郎
大嶺小3年 宮本 一輝
嘉万小4年 上本 可奈
大嶺小4年 松本 明莉
秋吉小5年 岡崎 さくら
秋吉小5年 酒井由芽 菜央
田代小5年 藤村 奈央
嘉万小6年 阿武 純奈
大嶺小6年 池上 愛音
大嶺小6年 村田真衣
美東中3年 井上 俊作
美東中3年 前野 澄彦
美東中3年 森本 建彦

(応募総数 70 点：
小学校 56 点・中学校 14 点)

ポスターの部

審査員 小田善郎・大庭龍徳

金賞

大田小1年 中島田辰也
大田小2年 浜田上島葵
大嶺小3年 大嶺田大来
大田小4年 大田中愛萌
大田小5年 大田上中愛萌
秋芳南中1年 大田倉田増原実
秋芳南中2年 大田倉田増原実
秋芳北中3年 大田倉田増原実

銀賞

大田小1年 山本夏陽
大田小1年 野久富乙
大嶺小2年 久富詩
大田小3年 岡倫太
大田小3年 大田平岡倫太
大田小4年 大田福倉増野
大田小5年 大田代田野め
大田小6年 大田代田野め
秋芳北中1年 秋芳北中片山
秋芳北中1年 秋芳北中片山
秋芳北中2年 秋芳北中片山
秋芳北中2年 秋芳北中片山
秋芳北中3年 秋芳北中片山
秋芳南中3年 秋芳南中片山

銅賞

大田小1年 大田小1年 徳重日
大田小2年 大田小2年 平中村友雅
大田小2年 大田小2年 中西村友美
大田小3年 大田小3年 大田小3年 大田小3年
大田小3年 大田小3年 大田小3年 大田小3年
大田小4年 大田小4年 大田小4年 大田小4年
大田小4年 大田小4年 大田小4年 大田小4年
大田小5年 大田小5年 大田小5年 大田小5年
大田小5年 大田小5年 大田小5年 大田小5年
大田小6年 大田小6年 大田小6年 大田小6年
大田小6年 大田小6年 大田小6年 大田小6年
秋芳南中1年 秋芳南中1年 秋芳南中1年 秋芳南中1年
秋芳南中1年 秋芳南中1年 秋芳南中1年 秋芳南中1年
秋芳南中2年 秋芳南中2年 秋芳南中2年 秋芳南中2年
秋芳南中2年 秋芳南中2年 秋芳南中2年 秋芳南中2年
秋芳南中3年 秋芳南中3年 秋芳南中3年 秋芳南中3年
秋芳南中3年 秋芳南中3年 秋芳南中3年 秋芳南中3年

(応募総数 91 点：
小学校 29 点・中学校 62 点)

エッセイ

秋吉台の景観…「問題点」

秋吉台は、自然保護の観点からさまざまな問題を抱えています。その一つが建屋の廃墟化です。当会では、六月の理事会後に一部の理事さんとその場所を点検しました。その結果、建物周囲のガラスは破損し、玄関のカギは壊れ、内部は荒れ放題で、とても見られた光景ではありませんでした。

これは、景観や防犯上からもとても大きな問題です。現在この件については、市議会の特別委員会で

も取り上げられ、解決に向けて検討されています。建屋の廃墟化は、他にも数件あります。市ではジオパーク問題も抱えており、県や市、所有者を含めて早急な解決策が待たれます。

美祢市自然保護協会は、任務の一つとして「特別天然記念物秋吉台・秋芳洞」をあらゆる目で点検し、保全保護していくことを目指します。

(副会長 中村 久)



平成 23 年度後期行事予定

- 10月16日(日)・・・会員研修(佐賀県唐津市方面)
- 11月中旬・・・自然保護啓蒙作品の入賞者発表
- 11月下旬～・・・自然保護啓蒙の入賞作品展示(公民館巡回)
- 11月1日(火)・・・広報誌『秋吉台』第2号発行
- 11月19日(土)・・・自然環境パトロール
- 11月25日(金)・・・役員研修(下松、光市方面)
- 期日未定・・・自然観察会の実施
- 期日未定・・・秋吉台エコ・ミュージアム共催による美化活動
- 平成24年3月(山焼き後:期日未定)・・・秋吉台清掃活動
- 平成24年3月(期日未定)・・・自然環境パトロール
- 平成24年3月・・・広報誌『秋吉台』第3号発行